

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	鹿屋市串良B&G海洋センター外 2 施設		
所在地	鹿屋市串良町有里2918番地1外		
指定管理者	名称： <u> 株式会社 アイコー </u> 代表者： <u> 代表取締役 坂元 孝一 </u> 住所： <u> 鹿屋市串良町細山田5280番地12 </u> 連絡先： <u> 0994-62-4152 </u>		
モニタリングの実施経過	●書類審査（月例及び年度報告書） ●現地調査 ●ヒアリング調査		
担当部課 （問合せ先）	市民生活部	市民スポーツ課	電話0994-31-1139 内線3594
	建設部	都市政策課	電話0994-31-1130 内線3453

【モニタリングの総合評価】

全体的に、良好な管理、運営を行っており、条例に則し、適正で公平な利用受付及び許可に努めている。

施設の利用状況については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種制限等が徐々に緩和され、利用者数及び利用料金ともに増加した。

特に、B & G 体育館及び大塚山公園の利用者増加が顕著であり、これは、新型コロナウイルスの感染拡大の縮小等に伴い、定期利用が回復してきたことや、近年開催を自粛していた、元旦イベントの再開の成果がでているものである。

施設の安全対策については、消防訓練や救急救命講習の受講、緊急連絡網の作成、職員への指導等を通して、利用者が安心して施設を活用できるよう日頃備えている。

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

- ・施設の老朽化に伴う不良個所の早期発見と事故防止に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

- ・老朽化した施設の改修等を検討する。
- ・予約システムの導入について調査・検討する。
- ・照明のLED化によるゼロカーボンシティかのやの推進を図る。

(1)基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

①合目的性・公平性・効果性

- 全体的に利用者数及び利用料金は、前年度を上回っている。
- 特に、B & G 体育館及び大塚山公園の利用者数の増加が顕著である。

施設	令和4年度		令和3年度	
	利用者数	利用料金	利用者数	利用料金
B & G 体育館	25,889	667,620	21,303	533,730
B & G プール	987	74,190	865	63,950
大塚山公園	7,516	3,220	3,134	2,150
合 計	34,392	745,030	25,302	599,830

- 施設の予約、利用は公平で適切に行われている。
- 各種イベントの実施等により、利用者増加の取り組みを行っている。
- 指定管理者名、料金等の表示を各施設に行い、利用者の利便性の向上に努めている。

(2)業務内容

①機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

- 大会利用等に伴い時間外の早朝開館の依頼があった場合には、柔軟に対応している。
- 清掃点検は毎日実施しており、トイレや窓の清掃、体育館のモップがけ等も毎日行っている。
- 芝・草管理については、仕様書に記載されている回数に留まらず、利用者からの要望や現状を判断し、適宜対応している。
- プール利用時期は、清掃及び水質検査・報告を毎日行っている。また、利用者数に合わせて監視員の人数を増員するなどの対応をしており、安全なプール管理に努めている。

②責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

- 作業の打合せや各種業務の手続き確認のためのミーティングを毎朝実施し、職員間での情報共有を図っている。

③明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

- 年間の業務計画・予算を作成し、計画的な業務を行っている。
- 個人情報記載の申請書等の書類は、キャビネットに鍵をかけて管理し、また、廃棄書類はシュレッダー処理を行うなど、適正な処理を行っている。

④安全性（安全管理・緊急時等の対応）

- 年2回防火防災訓練や救急救命訓練を実施するとともに、プール開放前には、従事者を対象とした講習等も実施している。
- 受託者は、市民救命士のいる事業所登録をしており、定期的に普通救命講習を受講している。

⑤社会性（環境等への配慮）

- 環境への配慮として、節電・節水や、施設周辺に花を植える等の美化活動の取組を行っている。

(3)事業収支

①経済性

- 月例報告及び年度報告書から、管理経費は効率的、効果的に使用していると評価できる。
- 前年度と比較して利用者数の増加に伴い、利用料金は増加している。

(4)団体の経営状態

①経営の健全性

- 財務諸表等会計関係書類及び過去の実績から、経営について、問題は無いと判断する。

施 設 概 要 調 書

1 施設の概要

施設名	鹿屋市串良B&G海洋センター 外2施設	所管課：市民スポーツ課 都市政策課	
所在地	鹿屋市串良町有里2918番地1外	設置年月日：昭和58年度	
設置目的	市民の健康増進及び青少年の健全育成		
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市串良大塚山青少年の森条例、鹿屋市串良B&G海洋センター条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積	95,563.72㎡
		延床面積	2,328.7㎡
	《有料》条例に基づき、使用料を徴収		
	事業概要	(1) 施設の維持管理業務 (2) 施設の使用許可利用料金の領収及び免除	

2 経営分析評価指標

①事業収支	0円	④外部委託費比率	3.9%
②利用料金比率	5.7%	⑤利用者あたり管理運営コスト	378.5円/一人
③人件費比率	78.7%	⑥利用者あたり自治体負担コスト	350.5円/一人

※ 少数点第2位四捨五入

3 運営状況

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
開館日数	298日	297日 ※台風接近に伴う臨時休館 (9月18日)
開館時間	プール施設等 午前9時～午後8時 体育館・青少年の森 午後9時～午後10時	プール施設等 午前9時～午後8時 体育館・青少年の森 午後9時～午後10時
事業開催		・プールイベント 幼児・小中学生：約40人 ・初日の出イベント 地域住民等：約300人

4 利用実績

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
貸し室等 利用回数	海洋センター	1,021
	プール	61
	研修棟	478
	計	1,560
施設利用 人数	海洋センター	25,889
	プール	987
	研修棟	7,516
	計	34,392

5 事業収支

(単位: 千円)

項目		実施計画 (事業計画書より)	実施内容 (実績)
貸し室等利 用収入	海洋センター		668
	プール		74
	研修棟		3
	計	101	745
その他料金収入			
自主事業収入			
指定管理料		11,932	12,056
その他収入		19	216
収入計 (A)		12,052	13,017
事業費			
人件費		9,366	10,248
修繕費		342	376
通信運搬費			
施設管理費			
印刷製本費			
光熱水費			771
委託料		549	510
保険料			
租税			15
事務費		803	
管理費		992	709
その他			362
納付金			26
支出計 (B)		12,052	13,017
収支 (A) - (B)		0	0

指定管理者自己評価表

令和 5 年 4 月 24 日

指定管理者 有限会社アイコー施 設 名 鹿屋市串良 B & G 海洋センター等

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	3・2・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	3・2・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	3・2・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	3・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	3・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	3・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	3・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	3・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	3・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	3・2・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	3・2・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	3・2・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	3・2・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・2・1
	15 事業収支は妥当であるか	3・2・1
総合評価 (所感)	<p>パンフレット作成や声掛け運動が功をなしたと思う。（プール・大塚山公園・体育館等の利用者）</p> <p>今後も、利用者との語らいやコミュニケーションを更に深めていきたい。</p> <p>また、利用者が安心・安全に使用できるように心がけたい。</p>	

【自己評価の採点基準】「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通した指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。